令　和　8　年　度

一関修紅高等学校一般入学者選抜学力検査問題

第　1　回

（1 月 28 日　9 時 00 分～9 時 50 分）

国　　語

（注　　意）

1　「始めなさい。」の指示があるまで，問題を見てはいけません。

2　答えは，必ず解答用紙の「答」の欄に記入しなさい。問題用紙に書いても無効です。

3　答えは，記号・文字・言葉・文などで書くようになっていますから，問題をよく読んで，定められたとおりに書きなさい。

4　書き誤りをしたときは，きれいに消してから，新しい答えを書きなさい。はっきりしない答えを書いた場合は，誤りとされます。

5　解答用紙の※印欄（得点の欄）には，記入してはいけません。

6　時間内に書き終わっても，その場に着席していなさい。

7　「やめなさい。」の指示があったら，直ちに書くのをやめ，解答用紙を机の上に置きなさい。

8　問題用紙は，表紙を含めないで９ページで，問題は６題です。

1

辻調理師専門学校（辻調）に新設された鮨科に入学した「僕」は、担任の城島先生の厳しい指導のもと、多様な国籍の仲間たちと日々精進しています。次の文章は、三学期の初日に学校を休んだ城島先生が、翌日、視力を失ったと教室で告げ、それを聞いた一部の仲間が泣き出した場面です。この文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えなさい。

「びっくりさせてしまって、本当にすまない。が心配するな、俺は教壇に立ち続ける。お前たちの出来だって触ればわかる、香りでも音でもわかる。食べたらもっとよくわかる。五感のうち、俺にはまだ四感も残っているんだ。だからお前らも、俺の指導が甘くなるなんてことは期待するんじゃねぇぞ！」

先生はそう言うと佐野先生に指示を出し、授業の準備をはじめた。そして、ざわつく教室に向かって力強く言い放った。

「よく見てろ！　お前たちの目の前で証明してやる。俺はまだ教えられるんだ！」

目が見えないのに魚を捌いて鮨を握るなんて、本当にできるんだろうか。そもそも包丁を使うこと自体、危険過ぎる。頭の中をいろんな考えが駆け巡った。けれど何よりも、苦戦する先生を絶対に見たくないというのが本音だった。もし上手くできなかったら、さっき感じた絶望は本物になり、到底受け入れられないこの事態を現実として認めざるを得なくなってしまう。

万が一、あの圧倒的な技を持った先生が失敗してしまったら……辻調で城島先生に出会って以来、今まで自分の中に築き上げてきた大切なものが崩れ去ってしまう。

①それが何より怖かった。

城島先生の指示で佐野先生が用意したのはカレイだった。よりによって『五枚おろし』(注1)が必要な、めちゃくちゃに難しいネタ(注2)が準備されていた。あり得ない、先生はまだ視力を失ったばかりだ。目の前のおしぼりを手に取ることすら、おぼつかないのに。

僕は不安でたまらなくなって、入り口近くから様子を見守っている校長先生も、心配そうに城島先生の手元をじっと見つめているばかりだった。

緊張が一気に高まったその時、ふと隣のママドウと目が合った。ママドウだって心配でたまらないだろう。そう思うと、何がなんでも自分を落ち着かせなければという気持ちが湧いてきた。

そしてゆっくりと息を吸ってから、ママドウに目でこう言った。

大丈夫。先生はきっと、大丈夫。

先生はまず布巾をぎゅっと絞ってから、きっちりたたみ、左手を滑らせながら調理台の角を探してピタリと布巾を置いた。そして右手に出刃包丁(注3)を握り、左手でまな板の大きさと水道の位置を念入りに確認しはじめた。②途中一度だけ手の甲が蛇口にぶつかり、ゴツンと痛々しい音を立てた。

ひと通り確認を終え、先生は呟いた。

「よし、それじゃあいくか」

この日見た光景を、僕は一生忘れないだろう。僕だけじゃない、この教室にいた全員が、生涯決して忘れることはないだろう。

圧倒的だった。そして、芸術的だった。

先生はまず、いつものように刃先に左手の親指の腹を軽く滑らせ、研ぎ具合を確かめた。そして左手の指三本でまな板の上のカレイをひと通り触り、身の大きさを記憶すると、迷うことなくブスリと包丁を入れ、間髪を容れずその手を動かした。いつもと全く同じ動き、全く同じスピード。力強くも繊細な包丁捌きだった。もう視力など関係なかった。

「これが泣く子も黙る超高級魚『星鰈』だ。ぷりっとした歯ごたえがたまんねーぞ！」

威勢よくそう言いながら、中央の側線(注4)の上を一気に切り込み、刃先を骨に沿わせギリギリを切っていく。腹骨の内臓の部分には太く硬い骨があってみな苦戦するけれど、先生はなんの苦もなく外した。

きれいに削ぎ落とされた四枚の身を、まな板の上に等間隔に置き、残った骨を左手で摘まんで顔の前まで持ち上げた。向こう側にある先

生の顔が透けてはっきり見えた。そして先生は、お前ら、これでもまだ不安か？　と言わんばかりに、③片方の唇の端に余裕を見せた。

僕たちの不安は跡形もなく消し飛んだ。圧巻としか言いようのない技を目の当たりにして鳥肌が止まらなかった。④ミカちゃんがまた泣いている。クラウディアの涙の色もさっきとは違う。千住までもが目に涙を浮かべていた。

城島先生は休む間もなく高速回転でワサビを下ろし、シャリを手にして、あっと言う間に二十貫握り終えてしまった。今僕たちの目の前にあるのは、美しく気高い「魂の握り」以外の何ものでもなかった。

（土田康彦「辻調すし科 先生といた日々」による／一部改変）

（注1）五枚おろし…魚の捌き方の一つ。頭を落とし、背骨の左右で表側二枚と裏側二枚に分けた四枚の身と、中骨一枚の、合計五枚に切り分けること。

（注2）ネタ…鮨の「シャリ（＝酢飯）」の上にのせる具材。

（注3）出刃包丁…魚をおろしたりするのに用いる、刃が厚く広い、先のとがった包丁。

（注4）側線…魚の体の両側に線状に並んでいる感覚器官。『五枚おろし』をする際の重要な目印となる。

(1) 二重傍線部　おぼつかない　とありますが、これは城島先生のどのような様子を表していますか。次のア～エのうち最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア　不確かで安定しない様子
イ　他者に助けを求める様子
ウ　やる前から諦めている様子
エ　失敗して悔やんでいる様子

(2) 傍線部①　それが何より怖かった　とありますが、「僕」は何が怖かったのですか。それを次のように説明するとき、［　　］にあてはまる言葉を、**十五字以内**で書きなさい。（5点）

［　　］によって、今まで築き上げてきた大切な思いを失うこと。

(3) 傍線部②　途中一度だけ手の甲が蛇口にぶつかり、ゴツンと痛々しい音を立てた　とありますが、この描写は、この場面においてどのような役割を果たしていますか。次のア～エのうちから最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　先生が視力を失ったことへのとまどいと不安を、「僕たち」に自覚させる役割。
イ　先生のこのあとの失敗を予感させ、「僕たち」の成長をよりきわだたせる役割。
ウ　先生が視力を失ったことを、「僕たち」に現実の出来事として突きつける役割。
エ　先生の包丁捌きの見事さを示し、「僕たち」の先生への尊敬を決定づける役割。

(4) 傍線部③　片方の唇の端に余裕を見せた　とありますが、ここから城島先生のどのような気持ちが読み取れますか。次のア～エのうちから最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　骨の薄さで教え子を驚かせることができた達成感。
イ　失明しても指導を続けられると証明できた満足感。
ウ　他の先生との格の違いを見せることができた充実感。
エ　失明する前と遜色なく魚を捌くことができた優越感。

(5) 傍線部④　ミカちゃんがまた泣いている。クラウディアの涙の色もさっきとは違う　とありますが、この部分から、二人の気持ちがどのように変わったことがわかりますか。それを次のように説明するとき、［　　］にあてはまる言葉を、二人の気持ちの変化がわかるように、**七十字以上八十五字以内**で書きなさい。（8点）

［　　］に変わったこと。

2　次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えなさい。

コミュニケーションの認知科学と社会的ロボティクスを専門とする岡田美智男は、「弱いロボット」による共生を提唱している。このロボットは、私たちが思い浮かべる、いわゆる〝ロボット〟とは見た目や性格がかなり異なる。ふつう、ロボットは役に立つものである。技術と共に機能が進化して、できることが増えていく存在だろう。典型的には、人間にできないことが、ロボットにはできる、というイメージだ。ロボットが難しいことをやってのけるから、それは人間を助け、社会の役に立つ、というロジックである。

ところが、弱いロボットは、「できる」よりも「できない」に軸足が置かれている。たとえば、壁や家具に衝突しながら、不器用に掃除を進めるお掃除ロボットについて、岡田は、このように書いている。

そもそも、部屋の隅のコードを巻き込んでギブアップしてしまう、床に置かれたスリッパをひきずり回したり、段差のある玄関から落ちてしまうとそこから這い上がれないというのは、これまでの家電製品であれば、改善すべき欠点そのものだろう。

ところがどうだろう。このロボットの〈弱さ〉は、わたしたちにお掃除に参加する余地を残してくれている。あるいは一緒に掃除をするという共同性のようなものを引きだしている。くわえて、「部屋のなかをすっきりと片づけられた」という達成感をも与えてくれる。なんとも不思議な存在なのである。

（岡田美智男『〈弱いロボット〉の思考』、一七頁）

お掃除ロボットの究極形態は、まったく人間の手を煩わせることなく、一人で掃除を完遂する存在である。この観点から見れば、先に描写されたロボットは、発展途上で未熟な形態だと言える。しかし岡田は、このロボットの「弱さ」こそが、私たち人間が掃除に参与する「余地」を残す、と述べる。それどころか、弱いロボットは、一緒に部屋を片付けられたという達成感をも与えるのだ。

たしかに、たとえば神のような存在に対して、手を差し伸べる人はいない。すべてを独力で完璧にやってのけてしまうなら、他者の助けを必要としないからである。周囲の人は、むしろ邪魔をしないように気を遣うばかりで、そこに共同性や達成感は生じない。しかし、これは逆に言えば、完全さは他者が介入する余地を残さない、ということになるだろう。

自分ではゴミを拾えない「ゴミ箱ロボット」、一緒に手をつないで歩くだけの「マコのて」、「む～むむ～」としか話さない「む～」……。岡田が開発するロボットは、どれもユニークで、自分でできることは少ないが、②周囲の人びとがつい手を差し伸べてしまう存在である。そして、弱いロボットは、その状況全体（環境や他者）を自然に巻き込むことで――「委ねる」と「支える」の相互性の中で――他者と一緒に行動する存在でもある。人とロボットは③持ちつ持たれつの関係にあるのだ。

ここには、面倒なことはロボットに委託すればよい、というアウトソーシングの発想はない。そうではなくて、あえてロボットに弱さを留めることで、そこに人間が関与する余地を残すという、互いの弱さを補完し合うための共生論的な発想がある。弱いロボットを思わず助けてしまうのは、〈私〉が自らの内側に弱さや脆さを感じられる存在だからである。

おそらく、一生懸命やろうとしてできない存在を放っておけないのは、自分の中の類似の体験がそれに呼応してしまうからである。記憶には残っていないとしても、誰もが幼少期には他者の支えを信頼し、そこに身を委ねる。一人歩きするときも、滑り台の階段をのぼるときも、初めて川の中に入るときも、その後ろには、大人がいるのだ。

泣かないで幼稚園の園舎に走っていく姿は、家族や先生の視線によって支えられている。そういう視線の中で一生懸命何かに取り組み、できなかった悔しさやできたときの喜びが、身体の中に溜まっているのだ。脳ではなくて、身体がそれを覚えているのである。だからこそ、

弱いロボットの健気（けなげ）さや不器用さを目の前にしたとき、④今度は〈私〉がその存在の支えとなりうる、ということを直感してしまう。弱さの感触が、身体に残されているのである。

さて、このような共生的関係は、人間とロボットの間に限定されない。〈私〉と〈私〉の間にも、同じように生じるはずである。すなわち、何事も〈私〉一人でやろうとすると、他の〈私〉が入るための場所がなくなるのだ。行為の責任も自分で負わなければならなくなる。ならば逆に、〈私〉が不完全な存在であるからこそ、そこに他者が関与する余地が残される、と言えそうである。

（岩内章太郎（いわうちしょうたろう）「〈私〉を取り戻す哲学」による）

（注1）認知科学…情報処理という観点から、生体（特に人）の知の働きや性質を理解する学問。

（注2）社会的ロボティクス…人とロボットの関わりや共生のあり方を研究する学問。

（注3）ロジック…論理。物事の筋道や考え方のしくみ。

（注4）参与…ある物事に関わって行うこと。参加すること。

（注5）アウトソーシング…本来は自分でやるべき仕事を、外部にまかせること。

（注6）共生論的…共生という考え方に基づいた。互いに助け合って生きるという考え方を前提にした。

(1) 傍線部① する とありますが、本文中の波線部ア～エのうち、これと異なる品詞の単語はどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

(2) 傍線部② 周囲の人びとがつい手を差し伸べてしまう存在 とありますが、本文中でこの言葉と対照的な意味で用いられている言葉は何ですか。本文中から**七字**で**そのまま**抜き出して書きなさい。（4点）

(3) 傍線部③ 持ちつ持たれつの関係 とありますが、次のア～エのうちから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア 弱いロボットが状況全体を自然な形で巻き込む関係。
イ 状況全体の不完全さを周囲の人が補完していく関係。
ウ 弱いロボットができない行動を他者に委ねて行う関係。
エ 互いに手を差し伸べ合いできないことを補完する関係。

(4) 傍線部④ 今度は〈私〉がその存在の支えとなりうる、ということを直感してしまう とありますが、筆者がこのように述べる理由は何ですか。それを次のように説明するとき、［　　］にあてはまる言葉を、**「幼少期」「他者の支え」**の二語を用いて、**三十字以上四十字以内**で書きなさい。（6点）

誰の身体にも、［　　］から。

(5) 次のア～エのうち、本文の内容について説明しているものとして、最も適当なものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア 岡田美智男の著作を引用し、弱いロボットの開発が人を正しい方向へと導いていく可能性について述べている。
イ 一般的なロボットと弱いロボットの特徴を比較し、人と従来のロボットとの共生を支持する持論を述べている。
ウ 弱いロボットの不完全さがもたらす影響を説明し、人が弱いロボットへ抱く感情の可能性について述べている。
エ 弱いロボットの事例を挙げ、未来の人とロボットとの関係性がどのようになるかを予測する持論を述べている。

3　次の詩と《解説文》、《話し合いの様子》を読んで、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。（4点×3）

さういふ笑ひは僕には困る
見知らぬ女の背から見知らぬ幼児が僕に笑ひかける
僕も笑ひ
僕は泣きさうになる
あんまりこの世にはさういふ笑ひが無さすぎるから
さういふ笑ひは僕には困る
天使の微笑に他ならないのだから
さういふ笑ひはうれしすぎ
さういふ笑ひは僕を苦しめる
ここで僕が心のままにわあわあと泣きだすことができたならばいいんだが
泣いては幼児を泣かせてしまつていけないし
僕も人がいつぱいの電車の中では泣けもしないから
僕は笑ひつつ苦しくて困る
さういふ笑ひは僕には困る

高見順（たかみじゅん）

《解説文》

のっけから「さういふ笑ひは」ともちだし同じことばを七回もくり返している。同じことばをくり返すということは、作者がそのことばに、詩の主題を託（たく）したということであるが、「さういふ笑ひ」がどんな笑いなのかということについては、わずかに「□」ということばがあるだけで、説明らしいものは見当たらない。

さて、「さういふ笑ひ」とは、どんな笑いだろうか。筆者は、相手に自分自身を無条件に全面的に預けてしまう、そういう好意の表現、相手をえらばぬ無垢（むく）の信頼、そういうふうに解する。

（吉野弘（よしのひろし）「詩のすすめ 詩と言葉の通路」による／一部改変）

《話し合いの様子》

ももかさん　《解説文》にあるとおり、私は「さういふ笑ひ」が詩の中で七回も使われていることが気になりました。題名にも使われているし、筆者にとって大切なことなんだなと思いました。

あおいさん　「さういふ笑ひ」は詩の中で「□」と表現されていますが、とてもきれいな表現だよね。

みどりさん　私は、「さういふ笑ひ」が「うれしすぎ」て「僕を苦しめる」という部分が印象的でした。どうしてうれしいはずの笑いが、苦しみになるんだろう、と。

しおんさん　それは、普段「さういふ笑ひ」に触れる機会があまりないことが原因だと思うな。詩の中で「この世にはさういふ笑ひが無さすぎる」と言っているし。

あおいさん　それで、急に［Ⅰ］を向けられて、どうしていいかわからなくなって、どぎまぎしちゃったんだね。作者が見慣れていた大人たちの笑いとは全然違ったんだろうね。

ももかさん　この詩には、［Ⅰ］に接した感動だけでなく、そのときの［Ⅱ］がうまく表現されているね。

(1) 傍線部　あんまりこの世にはさういふ笑ひが無さすぎるから／あんまりこの僕にはさういふ笑ひが恵まれなさすぎるから　とありますが、ここで用いられている表現技法は何ですか。次のア～エのうちから最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。

ア　対句
イ　倒置
ウ　擬人法
エ　体言止め

(2) 《解説文》と《話し合いの様子》の［　　］には、どのような言葉が入りますか。共通してあてはまる言葉として最も適当なものを、詩から**五字**で**そのまま**抜き出して書きなさい。

(3) 《話し合いの様子》の［Ⅰ］、［Ⅱ］には、それぞれどのような言葉が入りますか。次のア～エのうちから、その組み合わせとして最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。

ア　Ⅰ　大人に自省を促す、あどけない幼児の笑顔
　　Ⅱ　自然に笑みがこぼれる幸せに満ちた心の動き

イ　Ⅰ　電車でしか出会えない、純粋な幼児の笑顔
　　Ⅱ　一瞬の出会いから生まれる奇跡的な心の動き

ウ　Ⅰ　誰にも平等に笑いかける、素直な幼児の笑顔
　　Ⅱ　喜びと悲しみが混じった予想に反する心の動き

エ　Ⅰ　清らかでけがれのない、無邪気な幼児の笑顔
　　Ⅱ　二つの相反する感情が混在する複雑な心の動き

4　次の文章を読んで、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

故少納言入道（注1）、人にあひて「敦親（注2）はゆゆしき博士かな。物を①問へば知らず知らずと言ふ。」と言はれけり。それを問ひたる人、「知らずと言はんは何のいみじからんぞ。」と言ひければ、「身に才智あるもの②を知りがほにするなり。すべて学問をしては、皆の事を知りあきらむる事と人の知れるは③僻事なり。大小事をわきまふるまでするを、学問のきはめとはいふなり。それを知りぬれば、難儀を問はれて知らずと言ふを恥とせぬなり。」とぞ④言はれける。

（「続古事談」による）

（注1）故少納言入道…「故」は、亡くなっている人をよぶ場合に冠する語で、「少納言入道」は、藤原通憲のこと。ここでは、「すでにお亡くなりになっている少納言入道が」という意味。藤原通憲は、平安時代の貴族・学者。

（注2）敦親…藤原敦親。平安時代の貴族。

(1)　傍線部①　問へば　の読み方を現代の仮名遣いに直し、**すべてひらがな**で書きなさい。（3点）

(2)　傍線部②　知りがほにする　、④　言はれける　とありますが、それぞれの主語は誰ですか。次のア～エのうちから、その組み合わせとして最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　②才智あるもの　④故少納言入道
イ　②才智あるもの　④問ひたる人
ウ　②実才なきもの　④故少納言入道
エ　②実才なきもの　④問ひたる人

(3)　傍線部③　僻事なり　は「間違いである」という意味ですが、どのようなことが間違いなのですか。それを次のように説明するとき、［　　］にあてはまる言葉を、**十五字以内**で書きなさい。（5点）

学問をするうえで、［　　］と思うこと。

(4)　次のア～エのうち、この文章から読み取れる内容として、最も適当なものはどれですか。**一つ**選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　聞かれたことに対して知らないと答える人でも、のちにすばらしい博士になれる。
イ　学問の極意を理解している人は、知らないことを知らないと堂々と言えるものだ。
ウ　易しいことから難しいことまで、すべて間違いなく学ぶことが学問の極意である。
エ　難しいことを聞かれたときに答えられないのは当然で、恥ずかしいことではない。

5　白井さんたちは、地域のイベントの実行委員の方から、イベントを盛り上げるアイデアを出してほしいと依頼されました。次の《イベントについて書いたメモ》と《話し合いの様子》を見て、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

《イベントについて書いたメモ》

地域交流イベント「桜まつり」

1．日時・会場
- 3月28日(土)　9:00～16:00
- 市民センター

2．内容
- 市長あいさつ
- 屋台、キッチンカー
- ステージ発表

3．実行委員会の願い
- 地域住民の交流を通して地域を活性化させたい。
- 年々減っているイベントの来場者数を増やしたい。

4．依頼内容
- 中学生らしい発想でイベントを盛り上げてほしい。
- できるだけたくさんのアイデアを出してほしい。

《話し合いの様子》

白井さん(司会)　実行委員の方から、中学生らしいアイデアを出してほしいと依頼がありましたが、何かアイデアはありますか。

赤木さん　ステージ発表があるから、部活動の発表はどうだろう。吹奏楽部のミニコンサートがあれば、家族が見に来てくれて、きっと来場者数も増えるよ。

黒田さん　ご当地ヒーローやゆるキャラを呼ぶのはどうだろう。

白井さん　それだと来場者数は増えるだろうけど、交流による活性化にはつながらない気がするな。「実行委員会の願い」の両方をかなえられるアイデアがあればいいんだけど……。

赤木さん　それなら、思いつくのは、ゲーム大会か、クイズ大会かいらいだなあ……。

黒田さん　それ、いいね。地域にまつわるクイズ大会がいいよ。

白井さん　具体的なアイデアが出てきたね。あとは、実際に行うことを想定して、注意点なども考えてみないとね。

(1)　傍線部の白井さんの発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしていますか。次のア～エのうちから最も適当なものを**一つ**選び、その記号を書きなさい。(3点)

ア　直前の提案のよさを認めながら、疑問点を質問して暗に欠点を指摘している。

イ　直前の提案の問題点を指摘しながら、議論する内容の方向性を提示している。

ウ　直前の提案を復唱しながら、案を観点別に分類して話し合いを整理している。

エ　直前の提案を確認しながら、誰も提案していない新たな観点を追加している。

(2)　《話し合いの様子》の中で出されたさまざまなアイデアについて、あなたはどのように考えますか。次の【条件】①～③に従って、あなたの考えを**説明する文章**を書きなさい。(12点)

【条件】

①　**原稿用紙の正しい使い方**に従って、二つの段落で構成し、**七行以上十行以内**で書くこと。

②　第一段落では、《イベントについて書いたメモ》を踏まえ、誰の、どの提案がよいと思ったか、あなたの考えを書くこと。

③　第二段落では、次の**二つ**のことを書くこと。
- 第一段落に書いた提案について、なぜよいと思ったのか、あなたの考えを書くこと。
- それを実際に行う場合、注意点にはどのようなものがあるか、あなたの考えを書くこと。

6 次の(1)～(6)の傍線部分について、漢字の場合は正しい読みを**ひらがな**で書き、カタカナの場合はそれにあたる**漢字**を楷書で正しく書きなさい。（2点×6）

(1) 物事の本質を捉える。

(2) 恒久の平和を願う。

(3) インターネットは重要な媒体だ。

(4) カガヤかしい未来を夢見る。

(5) 漢字の誤りをテイセイする。

(6) 仲間とユカイな時間を過ごす。